

典考動

「自主・創造」

文責 竹田 敏彦

《新型コロナウイルス感染予防対策を万全に》

2月に入り、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり衰える気配がありません。この状態がいつまで続くのであろうかと心配するばかりです。本校でも学年閉鎖や部活動停止などの措置を行い、学校生活を停止せざるを得ない日々が続いております。このような中でも子どもたちは、学校での授業を大切にするとともに、家庭学習、オンライン授業など学びを止めない取組を精一杯頑張ってくれています。誰もがいつ新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況です。引き続き感染対策をご家庭でもよろしくお願ひします。



北京オリンピック写真一覧より抜粋

さて、東京オリンピック・パラリンピックの興奮から半年、北京で2度目となるオリンピックが開幕しました。現在行われている北京オリンピックでは、記録が更新されたり想像を絶するほどの技を目の当たりにしたりして、人の力というのは無限の可能性を秘めているのだと実感しています。こうした力を引き出す原動力とはどのようなものなのでしょう。自分で目標を定めて毎日努力を続けることはもちろんのことですが、支え合える人がいるということはいへん大きなことです。フィギュアスケート男子シングルフリーで金メダルを獲得したアメリカのネイサン・チェン選手は、今回4位という成績に終わった羽生結弦選手に対して「これからも彼はどうあれ、常に真のフィギュアスケートのアイコンであり続けるでしょうし、最も偉大なスケーターの1人です」、「何があっても、彼の立場というところは誰も奪えないものです」など、今回の成績などを改めて度外視した羽生選手への敬意を述べていました。そして、「結弦と一緒に過ごすことができ、同じ氷の上に乗れるというところでもうれしいです。子どもころ、彼が滑走しているところを見て、そして彼と競うようになって、また今回も彼と滑れるというところでは本当にうれしく思っています」と語っています。羽生結弦選手の人柄はもちろんのこと、羽生結弦選手とネイサン・チェン選手は良きライバルであって互いを認め合う仲間であったのではないのでしょうか。仲間のみならず、周りのさまざまな人が知らず知らずのうちに支えとなり、私たちは多くの苦難を乗り越えているのだと思います。

BEIJING 2022



北京オリンピック写真一覧より抜粋

「練習はうそをつかない」という言葉をよく耳にします。この言葉は、練習でできないことは、本番でもできない。練習の成果が本番に出る。練習を積み重ねてきたからこそ良い結果が出る。という意味です。学習に対しても同じことが言えます。勉強していないのに問題は解けません。努力をすればするほど成果が必ず現れます。すぐにその成果が出る人もいれば、出ない人もいます。決してあきらめず努力を続けてください。毎日の積み重ねが大切なのです。

《学校評価アンケート結果》

1学期と2学期に学校評価アンケートを保護者の皆様と生徒の皆さんにお願いしました。結果の概要は下記のとおりです。

【生徒アンケート】

1学期より上昇した項目は、運動（体を動かすこと）は好き1学期82%→2学期83%、人権学習などで生命や他の人を大切にする学習をしていることを、自分の生き方として考えることができる1学期89%→2学期90%、人が困っていたら進んで助ける1学期87%→2学期89%、自分のことが好き1学期59%→2学期62%、英語の授業は好き1学期64%→2学期65%でした。その他の項目につきましては横ばい状態で、1学期よりも大きく下がっている項目は電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい1学期81%→2学期78%という結果でした。

【保護者アンケート】

1学期より上昇した項目は、お子さんは、楽しく学校へ行っていますか1学期→87%→2学期90%、お子さんは体を動かすことや運動を楽しくやっていますか1学期84%→2学期86%、学校には子どものことについて相談しやすい雰囲気がありますか1学期77%→2学期79%、お子さんには規範意識（ルールやきまりをしっかりと守る意識）が身についていると思いますか1学期89%→2学期91%でした。その他の項目についてはほとんどが横ばい状態で、1学期よりも大きく下がっている項目は、学校は、教育方針や教育内容について学校だよりや学年通信などで分かりやすく伝えていると思いますか1学期84%→2学期80%という結果でした。

今年度もコロナの影響で、「修学旅行」は旅行地を変更したり、老中祭「体育の部」は縮小して行い、「文化の部」は中止になったりと、学校行事を十分な形で行うことができませんでした。また、普段の学校生活でも、学年閉鎖や部活動停止、「マスク」「身体的距離」「声」にいつも注意しなければならない大変な日々が続きました。このような状況の中でのアンケート結果は、決して満足のいく結果ではありませんでした。生徒の皆さん、保護者の皆様も大変ストレスを抱えておられたことと思います。それでも、生徒の皆さんは、ひとりひとりがよく考え、クラスで、学年で、生徒会や部活動でも、みんなでしっかり協力し、学校行事を、また毎日の学校生活を、有意義で充実したものにしてくれました。生徒の皆さんがこのような素晴らしい成果を残せたのは、いうまでもなく保護者の皆様のご理解とご支援の賜物です。生徒の皆さん、保護者の皆様に、心から感謝のことばを贈ります。本当にありがとうございます。

2月21日（月）に1年生を対象に草津警察署、少年センターをお招きし、初発型非行防止教室を開催します。また、2月25日（金）には、2・3年生を対象に篠原嘉一先生を講師に招き「スマホやネットに潜む危険から身を守る方法」を学びます。ぜひ、ご家庭でも話題にいただきご指導いただきますようお願いいたします。